



「お」と「を」の使い分け

なまえ

がつ にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文をかんせいさせましょう。

わたしの かあさんは、 しゃれです。

あ いろの さら かいました。

なかがすいたので、 にぎり たべました。

